



きざき

<http://www.kisho.city-niigata.ed.jp/>


2019年度 第8号

ゆく年 くる年

校長 増 井 一 久

クイズです。次の10個の漢字は何を表しているでしょうか？

災，北，金，安，税，輪，金，絆，暑，新

ヒントです。先日「**令**」が加えられました。

もうお分かりですね。これは歴代の「今年の漢字」一字です。「災」は2018年、「北」は2017年、「金」は2016年、以下右に一つ動くと一年ずつさかのぼります。

その年の世相を漢字一文字で表す師走恒例の「今年の漢字」が12月12日の「漢字の日」に発表されました。令和時代に入り初年の今年は「令」に決まりました。テレビや新聞等で京都の清水寺の貫主^{かんす}が大きな和紙に揮毫する場面が報道されたので、ご覧になった方も多いことと思います。

新しい時代への希望と期待。「令和」が日本最古の歌集である万葉集からの出典で、海外に” Beautiful Harmony＝美しい調和”と紹介されたことなどが選出の理由だそうです。

ちなみに2位以下の漢字一字も紹介します。2位「新」、3位「和」、4位「変」、5位「災」、6位「嵐」、7位「水」、8位「風」、9位「天」、10位「税」でした。ここからもお分かりのように、昨年に引き続き2019年も自然災害により多大な被害が出た年でもありました。

木崎小学校は創立145周年目。令和2年4月の新学習指導要領完全実施のための新しい教育活動を創造する一年でした。また、笹山小学校との統合に向け、周到的準備と心のふれあう温かな活動に取り組む一年でもありました。そして、今年も地域や保護者の皆さまから当校の教育活動に多大なるご支援を賜りました。この場をお借りし御礼申し上げます。

余談ですが、秋頃から新潟市内の中心地でも「イノシシが出た」というニュースが度々報道され驚きました。そう言えば今年は亥年でした。来年は子年。ネズミに関する騒動がニュースになるかもしれません。

さて、今年も残すところ10日余りとなりました。今年は「令和初」と言う言葉を何度も耳にしました。また、使ってもきました。まもなく「令和初」の冬休みが始まります。夏休みに比べ冬休みの日数は半分ほどですが、「令和初」のクリスマス、大晦日、そして、お正月。子どもたちにとっては昭和や平成と変わらず楽しいことが盛りだくさんです。

正岡子規は正月四日に「うれしさの 過ぎぬ正月 四日なり」という俳句を詠みました。「もう1月4日ですよ。お正月気分は昨日まで。そろそろ次の準備をしましょうね。」という意味が込められています。

新しい年を迎え、「一年の計」を胸に登校してくる子どもたちとの再会を楽しみにしています。皆さま、良いお年をお迎えください。

全校弁当の日～3年目の取り組み～

給食主任 盛田 聡

今年度の「全校弁当の日」は、第1回11月18日（月）、第2回12月9日（月）に行われました。「全校弁当の日」は、食事を作ってくれる人に対して感謝の気持ちを持つこと、食に対する関心を深めることを目的とした、木崎小学校では3年目になる行事です。



弁当の日の2週間くらい前までに「弁当の日カード」を書いて計画を立てました。自分のお弁当をイメージして、「おかずをつめる」「おかずを作る」「ごはんを炊く」「買い物をする」などの中から、チャレンジする目標を決めました。また、4年生、5年生は新潟調理師専門学校の吉田先生から、「ジュニアクッキング」という講座を開設していただきました。4年生は、11月7日（木）に、包丁の使い方など、調理を行うときのコツを教えていただきました。5年生は11月8日（金）に

調理実習をしていただき、弁当のおかずぴったりのメニューを教えてもらいました。

弁当の日当日には、お互いの弁当を見せ合いながら、「きれいにできたね」「これは自分で作ったんだよ」と、笑顔で話す様子が各学年で見られました。できることにチャレンジし、がんばって作ったお弁当は、いつも以上においしく食べることができたようです。

＜お家の人のひとこと（弁当の日カードから）＞

- 野菜を切ったりウインナーを切ったり、お料理のお手伝いをしてくれて助かりました。イメージの完成図とほとんど同じく、上手にできました。
- おかず作りがなかなかできなかったね。今度はがんばって作りましょう。おにぎりが上手にできました。弁当箱もきちんと洗えました。
- 自分から好きな物を考えて、買い物から最後の洗い物までやりました。料理を作る人の気持ちが少しでも分かったようです。そして、料理の難しさと楽しさも経験できたようでとても良かったです。



子どもたちの感想からは、「お家の人と考えたり、準備をしたりするのが楽しかった」「次は、もっと多くのことを自分でやりたい」という記述があり、料理を作る過程を楽しみにしている様子がうかがえました。また、学年があがると、賞味期限や産地を見ながら買い物をしたり友達の弁当を見て挑戦したりと一歩進んで取り組んでいることが分かりました。

家庭と一緒に取り組むことで、親子のコミュニケーションの場となり、食に関する意識が高まり、さらによくしていこうとする意識をもたせることに有効であったと考えます。保護者の皆様のご協力に心から感謝いたします。

みんなで協力して、さむさをふきとばそう！

木崎ハローウィンターフェスティバル

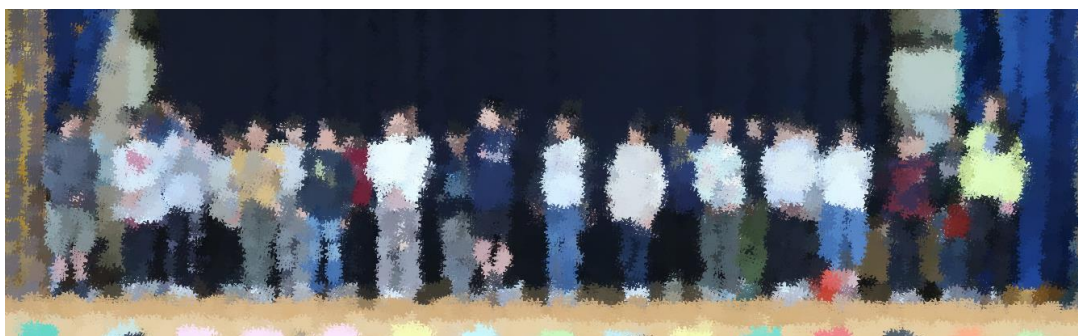
集会委員会担当 河内 真弓

12月10日（火）に、児童会集会委員会が計画した「木崎ハローウィンターフェスティバル」が行われました。28班のなかよし班ごとに出店を開くので、28の出店が並びました。どのお店もたくさんの子どもたちであふれ、楽しくゲームをする姿が見られました。パスポートをもって生き生きと歩き回り、学年の枠を超え、手をつないだり教えあったりする姿も多く見られました。

出店の準備では、6年生を中心に、なかよし班会議を開き、話し合いを重ねてきました。1年生と3年生はポスター作り、2年生と4年生は看板作り、5年生と6年生は店の細かいルール作りをしました。さらに5年生には、当日の児童朝会でお店のアピールもしてもらいました。頭を寄せ合い真剣に考えていました。

なお、当日は、笹山小学校の皆さんも参加しました。木崎祭りにしっかり溶け込み、楽しみながらたくさんのお店を回っていました。仲良くふれ合う良い機会になりました。

たくさんのおうちの方にも来ていただきました。ありがとうございました。



児童朝会で、5年生がお店のPRをしました。



来てくれたお客さんのパスポートにスタンプを押します。

体育館で魚つりをしています。うまくつれたかな。



シルエットクイズ。これは何のかけでしょう。



命を守る

安全教育担当 堀江 和宏

今年度は避難訓練を3度実施しました。第1回は、地震を想定した訓練、第2回は、火災を想定した訓練、第3回は、「近隣地域に強盗事件が発生し、犯人が逃亡した。安全確保のため全校児童を校内に留め置き、保護者に引き渡して下校させる必要がある。」とした引き渡し訓練を実施しました。

今年度の訓練では、目標として次の3つのことを掲げました。

- ① 自然災害の恐ろしさを知り、災害の際の対処や避難方法を知る。
- ② 通報・指示を的確に聞いて、落ち着いて行動する。
- ③ 職員間の連携を確かめる。

避難訓練では、どの学年も指示をしっかりと聞き、落ち着いて行動することで、短時間でスムーズに避難することができました。

これまで、引き渡し訓練では、クラスごとに行っていましたが今年度から体育館に全児童を集めて行いました。目標として次のことを掲げました。

- ④ 緊急時、確実に、速やかに児童を保護者に引き渡すことができるように、引き渡しの方法を確認する。

職員と保護者との連携を確かめることが出来ました。引き渡し方法を変えたにも関わらず、混乱もなく引き渡すことができました。ご協力ありがとうございました。

校内では、子どもたちと災害のことについて考え、災害時の行動を確認しました。私たち大人も、自分たちの命を守るために災害時どのような行動をすればよいのか確認しておくことが大切です。ご家庭でも、子どもたちとともに災害時の「家族のルール」について話し合ってみてはいかがでしょうか。

じょうぶな歯でいるために

学校歯科医 河野 雅之

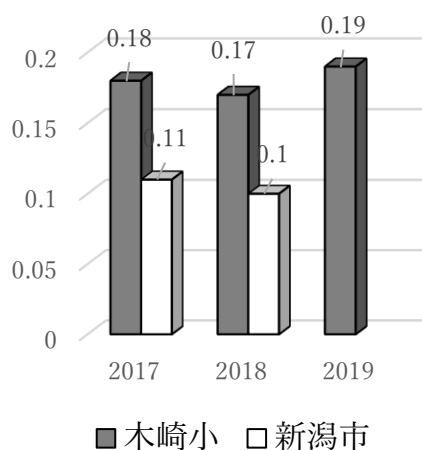
こんにちは。木崎小学校医、この歯科医院の河野と申します。みなさん、お子さんの歯の定期検診へ行かれていますか？小学生の時期は子どもの歯から大人の歯に生え変わる交換期です。

生えたとの大人の歯は、表面のエナメル質という層が完全に出来上がっていないため、虫歯になりやすい状態です。よって、この時期にフッ素を取り込むことで丈夫な強い歯になります。歯磨き粉に入っているフッ素や、フッ素洗口もとても大切ですが、歯科医院で行う高濃度のフッ素塗布は必要不可欠です。

また、奥歯は噛み合わせの溝が深いため、ハブラシの毛先が届きにくく、汚れが残りやすくなります。その溝をプラスチックの樹脂でコートしてあげるシーラントも有効な虫歯予防になります。

毎日の歯磨きやフッ素洗口はもちろん大切ですが、歯科医院で虫歯は無い、歯の生え方に問題は無いかを定期的に診てもらい、フッ素塗布や必要に応じてシーラントをしてもらいましょう。

永久歯のむし歯の状況（本）



このグラフは、児童の1人平均むし歯本数です。学校でのフッ化物洗口が始まり、3年が経ち、数年前と比べるとむし歯の本数は減ってきていますが、まだ新潟市の平均には届いていないのが現状です。